

YRS
ユアーズ

横浜ラポール
Support

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第 171 号

トピックス

【参加報告】

全聴情協関東ブロック会議

2月6日（火）、千葉聴覚障害者センターにて標記研修会が開催され、全国聴覚障害者情報提供施設協議会（以下、「全聴情協」）の関東ブロック（関東と山梨県）に属する11施設から参加があり、当施設からは施設長及び手話・要約筆記者派遣担当職員が参加しました。午前は、「電話リレーサービスを制度とする



に当たって～海外の政策と日本の課題～」と題して、慶応義塾大学大学院政策メディア研究科特任教授の川森雅仁氏による講演がありました。諸外国では、すでに国の責任として電話リレーサービスが実施されており、日本は、一部の企業や情報提供施設などが実施しているにとどまっており、先進国の中でも遅れている現状が分かりました。

午後の派遣担当職員グループでは、企業などへ主催者負担で手話通訳者等を派遣する基準に地域差があること、また聴覚障害者団体の広域レベルの大会などは、主催者側での情報保障の予算化がしにくい状況があることなど、昨年からの継続課題に関する討議を行いました。関東としての共通基準を作る必要性や、経費を予算化していない企業、団体に対してどう説明し理解を得ていくのかなど、現場担当者の課題や解決方策について情報交換できるよい研修の場となりました。

トピックス

【参加報告】

全聴情協関東ブロック映像制作担当者研修会

1月30日（火）、標記研修会が山梨県立聴覚障害者情報センターで開催され、当施設から2人が参加しました。全聴情協関東ブロックの情報提供施設・賛助会員施設から9施設（情提：群馬・茨城・埼玉・山梨・東京・神奈川・川崎・横浜、賛助会員：東京手話通訳等派遣センター）11人の担当者が集まりました。この研修は、今回で4回目の開催となります。



【研修の様子】

この研修の企画運営や講師は、経験の長い職員間が連携して担当しています。研修機材も情提間で持ち寄りました。第3ブロックは、経験年数の浅い担当者が多くいることから、ビデオカメラの使い方など、基礎的な研修を実施しました。前半は、機材の使用方法を学習しながらモデル撮影を行いました。後半は、撮影した映像の手話に合わせて字幕を付け、DVDで再生できるようにするまでの一連の作業・操作を学習しました。研修の時間が足りないほどでした。

映像制作担当者は、1人業務あるいは、他業務と兼務して行っている施設が多く、専門的な技術や知識を得たり、問題を解決したりするための時間を作ることがとても難しいのが現状です。ブロック施設の担当職員の連携により、聴覚障害者のための映像制作の向上のために研修を継続していきたいと思えます。

トピックス

障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」で横浜ラポールの制作番組が放送されました



【横浜市市電保存館】

1月23日(火)「目で聴くテレビ」で横浜が制作した2番組が放送されました。

1つ目は、「でんしゃ見見録～横浜」というタイトルで、「横浜市電保存館」をとりあげました。市電保存館は、昭和47年まで横浜市内を走っていた路面電車(愛称:ちんちん電車)の廃止後、車両工場の跡地に建設され、車両をはじめ、停留所の標識や敷石等、当時の貴重な資料が展示されています。今回の作品は、昔にタイムスリップしたような世界を楽しめる保存館の魅力を紹介しています。

2つ目は、「障害者差別解消法に関わる横浜市の取り組み」で、横浜ラポール情提と18区をつないで実施している遠隔手話通訳サービスについて紹介しました。手続き等、急な用事で区役所に行かなければならないときなどに使える、便利なサービスとなっています。



【横浜市の取り組み】

2つの作品とも、(一社)横浜市聴覚障害者協会の方にキャスターを担っていただいています。放送をご覧になれなかった方、DVD貸出や・ラポール館内でも放送しています。ぜひ、ご視聴ください。

新年度から、目で聴くテレビの放送が、インターネット配信による「IPTV目で聴くテレビ」に移行します。CSでの配信は3月末での終了予定となっています。現在、アイ・ドラゴン3をお持ちの方は「アイ・ドラゴン4」に切り替えが必要となります。



詳しくはアイドラゴン・カスタマーセンターFAX: 06-4801-9316へ

【実施報告】手話通訳者全体研修 健康講座「手話通訳者の健康管理」

研修事業



1月27日(土)、(一社)日本手話通訳士協会理事 鈴木唯美さんをお招きし、標記テーマで研修を行い60人が出席しました。講師は、手話通訳士として幅広くご活動されており、全国で開催される「手話関係者の健康フォーラム」の実施にも深く関わられていらっしゃいます。ご自身の経験や具体例を交えた講義は非常にわかりやすく説得力があるものでした。

手話通訳者が健康問題をなぜ学ぶのか、健康障害問題が起こり、取り組みが始まった歴史、取り組みや経過から学ぶこと、そして、現在の状況と、今後も継続して健康管理を行っていく大切さを学びました。

横浜では、毎年1回は必ず健康講座を行っています。通訳者から、この講座のタイミングで、自身の健康状態と通訳業務を振り返り、さらに、自身のこころと身体について向き合う時間を持つようにしているとの声を聞きました。特殊健康診断の実施とともにこの研修が健康管理の一助となっていることを改めて確認できた研修でした。

【参加報告】第3回関東ろうあ者相談員連絡会

相談事業

1月19日(金)、標記連絡会が聴力障害者情報文化センターで開催され、20人の参加があり、当施設から2人が参加しました。各施設から情報交換の後、都民総合法律事務所 田門浩弁護士を講師に迎え、「障害者差別解消法の現状について」の内容で、様々な差別の事例をもとに、分かりやすく説明がありました。今回の研修は、法律に関わる相談に対応する上で大変参考になる内容でした。今後の相談業務に生かしていきたいと思ひます。



普及・啓発事業

この12月～2月まで、普及・啓発事業の一つとして、 以下の対応を行いました

【区職員向け研修会】12月は港北区、1月は港南区、2月は青葉区にて「障害者差別解消法に基づく区職員向け研修会」を行いました。聴覚障害についての専門的な基礎知識とコミュニケーション方法についての講義、当事者を招き受付場面を想定したロールプレイ等、2日間（各2時間）にわたって行いました。平成28年9月よりスタートしたこの研修は今年2月で全18区で実施することができました。研修に参加された区職員より「聴覚障害者が受付にきたらすぐ案内できるように工夫する」「聴覚障害といっても色々な聞こえ方があるとは知らなかった」など、感想をいただきました。

【浜難聴例会】横浜市中途失聴者・難聴者協会例会が1月28日（日）に横浜ラポールで行われ当施設職員が参加し、要約筆記通訳者派遣関連を中心に説明しました。参加者より「講演会に行く場合、どのように通訳依頼したらいいか。」「急な依頼をした場合、近くの通訳者が派遣されるのか。」「講演会等、横浜市と他都市の難聴者が参加するときにはどのように申し込んだらいいか？」など、具体的な質問や意見が出されました。



【職場体験「聴覚障害者へのサービス」】1月25日（木）市立六角橋中学校の生徒7人が職場体験「聴覚障害者へのサービス」について学ぶため来所されました。聴覚障害の特性（目には見えない障害、分かりづらい）、耳の仕組みと聴覚障害の種類、聴覚障害者とのコミュニケーションのほか、情報提供施設の業務内容を説明しました。クイズや身振りでのコミュニケーション、手話学習をし、後半は情報提供施設の見学、最後に映像制作室で、覚えた手話を表現しビデオ撮りました。



【浜の会茶話会】神奈川ろうヘルパー連絡会「浜の会」主催の第6回茶話会が2月5日（月）に西区福祉活動拠点フクシアにて行われ当施設職員が参加しました。当施設の事業について説明後、自主制作の映像「でんしゃ見見録～市電保存館～」を上映しました。今後も当施設職員が顔を出し、顔が見える関係づくりができればと思います。

【スポーツ課手話教室】横浜ラポールのスポーツを利用される方へのサービスと安全管理の向上を目的として、スポーツ課非常勤職員向けの手話教室が1月24日（水）、2月7日（水）に行われ、当施設職員が講師を担当しました。スポーツ施設でよく使われる手話を学び、質疑応答では、考えながら手話で質問しようとする姿勢が印象的でした。

相談事業

【参加報告】第31回全国ろうあ者相談員研修会・ 第22回全国職業安定所手話協力員等研修会 兼ろうあ者労働問題フォーラム

全日本ろうあ連盟主催の標記研修会が1月26日（金）～27日（土）、国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。全国から124人が集まり、当施設から2人が参加しました。1日目は、「障害者差別解消法及び改正障害者雇用促進法施行後から1年半、聴覚障害者の就労支援および相談支援等の合理的配慮について」とのテーマでパネルディスカッションと、分科会のレポートが4件報告されました。



2日目は、事例レポート報告を受け、4つの分科会に分かれてグループ討議を行い、最後に全体会にて報告を行いました。来年度は岐阜県で開催予定です。

横浜ラポールの通訳派遣・相談事業をご利用の皆様(聴覚障害者の皆様)

お知らせ

以下の期間、メンテナンス（メールサーバー工事）のため、
 下記①のアドレスは、メールの送受信ができません。申込の時は、
 ②のアドレスか、③FAXをご利用いただくようお願いします。

通訳派遣専用アドレス・聴覚障害者相談専用アドレス	3/11 (日)	3/23 (金)	3/24(土) ~25(日)	3/26 (月)
① rapport.tsuyaku@yokohama-rf.jp rapport.soudan@yokohama-rf.jp	夕方18:00 までOK 18:01~ 23:59×	夕方18:00 までOK 18:01~×	全日×	○
② yokohama-rapport-jt@t.vodafone.ne.jp	○	○	○	○
③ FAX 045-475-2059	○	○	○	○

ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。※上記以外の日は、①②ともに使用できます。
 お問い合わせ：横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

出た！データ！

(1月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	4,280	161	4,441	4,510	医療	76	176
司法	92	6	98	58	職業	18	22
教育・保育	547	60	607	704	教育	0	0
労働・雇用	585	74	659	746	住宅	14	17
社会生活	1,105	92	1,197	1,029	生活	184	301
自己啓発	173	90	263	292	福祉	120	260
福祉推進	942	1,230	2,172	2,157	法律	20	49
相談員	0	0	0	3	聞こえ	21	26
他都市より	155	20	175	—	合計	453	851
合計	7,819	1,733	9,612	9,499	昨年同月	438	730
昨年同月	7,793	1,706	9,499				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

手話	回数	32	参加人数	976	自主制作作品数	45
要約筆記	回数	27	参加人数	538		

情提の動き

1月

- 4日 仕事始め
- 9日 視聴覚機器点検
- 10日 要筆現任研
- 10日 区職員研修(港南区1/2)
- 15日 手話専門研修
- 16日 関東ブロッコ映像制作担当者研修打合せ(川崎)
- 17日 手話派遣事業運営委員会
- 17日 手話養成リターナ会議(横聴協)
- 17日 手話養成運営委員会(〃)
- 19日 関東ろうあ者相談員連絡会(東京)
- 19日 横浜市立ろう特別支援学校視察
- 21日 29年度事業見直しMT

- 22日 衛生委員会
- 24日 区職員研修(港南区2/2)
- 25日 職場体験(六角橋中学校)
- 26~27日 全国ろうあ者相談員研修会(東京)
- 27日 手話全体研修
- 28日 浜難例会参加(事業PR)
- 30日 関東ブロッコ映像制作担当者研修(山梨)
- 31日 難聴幼児課見学対応

2月

- 1日 非常勤手話採用説明会
- 5日 手話1年次研修
- 6日 全聴情協関東ブロッコ研修(千葉)
- 7日 要筆現任研修
- 7日 区職員研修(青葉区1/2)
- 8日 要筆養成修了式
- 9日 日野中央高等特別支援学校視察
- 9~10日 手話講師養成リターナ研修(川崎)

- 11日 新春のつどい登壇、事業PR(横聴協)
- 14日 要筆派遣事業運営委員会
- 14日 要筆登録試験委員会(浜難聴)
- 14日 手話養成運営委員会(横聴協)
- 15日 30年度事業ヒアリング
- 16日 視聴覚機器点検
- 17日 要筆登録試験準備(浜難聴)
- 18日 要筆登録試験(浜難聴)
- 19日 市立ろう特別支援学校高等部見学対応
- 20日 関東ろうあ者相談員連絡会(千葉)
- 21日 区職員研修(青葉2/2)
- 21日 ヨツケ準備委員会
- 22日 聞こえ相談事業運営委員会
- 25日 手話養成講師研修(横聴協)
- 26日 衛生委員会
- 26日 遠隔通訳意見聴取会
- 28日 事業団職員研修

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日：平成30年2月28日

発行者：(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>